

日本語教師養成サブコース 2025 年度第1回 講演会 ～海外における日本語教育の現状と今後の課題について～

- 日時 2025 年 4 月 30 日(水) 17:00～18:30
 - 会場 B209
 - プログラム
 - ・開会あいさつ 林 良子教授
 - ・講演
 - ・全体討議・総括
 - 講師と演題 甲藤 瞳氏(元海外派遣日本語講師)「日本語教育・異文化理解」
 - 講演の概要 「新入生が世界を知り、将来のために興味と希望を持つ」ことを目的に、以下の4点についてお話しする。
 - ① 大学入学～日本語教師になるまではどんな感じだった？
 - ② 海外で日本語教師ってどんな感じ？
 - ③ 現地での暮らしは？
 - ④ ふりかえってみて、どうだった？
- なお、②と④では、大塚真理子氏(元 JICA 日本語教育隊員)にもご登壇いただき、日本語教師一つをとっても多様であることをご紹介する。

●講師紹介

(講師) 甲藤 瞳氏	大塚真理子氏
2017 年に国際文化学研究科を修了。2024 年まで国際交流基金や JICA の派遣でラオスの日本語教育に携わる。主な仕事は高校生、大学生、社会人を対象とした授業の実施や教員のブラッシュアップ等。現在は日本国内の留学生や就労者を対象に日本語の授業を行っている。幼少期から「異文化・言語・教育」に関心があり、日本語教師に。修士論文の題目は「混住寮における留学生・日本人学生間の交流の現状と課題に関する事例研究」。	嘱託非常勤兵庫県教育委員会子ども多文化共生サポーターに勤務する傍ら、神戸大学国際文化学研究科文化・地域文化系ヨーロッパ・アメリカ文化論コースに入学、2020 年度、博士課程前期課程修了。前期課程修了研究レポート題目は「デカセギ 2 世ペルー人青年のアイデンティティ」。2023 年 1 月、国際協力機構 JICA の日系社会海外協力隊員としてブラジルサンパウロ州ツパン市ツパン文化体育協会の日本語学校で日本語教育隊員として活動。2025 年 1 月末に帰国。

- 参加資格 日本語教師の仕事に興味をお持ちの学内外の方
- 申し込み 2025 年 4 月 23 日までに、下記サイトより申し込み
<https://forms.gle/XKajAPCfMz5s2piK8>
- 問い合わせ先 林 良子教授 rhayashi@kobe-u.ac.jp



※本講演会は国際文化学研究科教育研究プロジェクト「日本語教師養成サブコース高度化プロジェクト」の支援のもと、日本語教師養成サブコース運営委員会が企画・実施しています。